

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公表番号】特表2005-523124(P2005-523124A)

【公表日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2005-030

【出願番号】特願2003-587457(P2003-587457)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/372 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/372

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

リードの末端先端(41)と、ガイドワイヤー(47)を受け入れる管腔(32)とを有する医療電気リード(30、40)内にガイドワイヤー(47)を装填する装填装置(60)において、

外側部分(94)を有し、前端(80)から後端(82)まで伸び且つ、後端(82)に形成された開口部(75)を有する航行部分(navigation portion)(64)と、

リードの末端先端(41)を受け入れ且つ適正に向き決めして、ガイドワイヤー(47)をリード内に装填する間、リードの管腔(32)を航行部分(64)の開口部と整合させる係合キャビティ(66)と、

第二の側壁(96)から隔てられて、航行部分(64)の前端(80)から後端(82)まで外側部分(94)に沿って伸びるスロット(65)を形成する第一の側壁(95)とを備え、

その内部にガイドワイヤー(47)が装填されたリードが装填装置(60)から除去されるとき、ガイドワイヤー(47)がスロット(65)を通じて持ち上げられるようにしたことを特徴とする、装填装置。

【請求項2】

医療電気リードを冠状静脈系内に送り込むシステムであって、医療電気リードがコネクタ(50)から末端先端(41)まで伸び且つ、末端先端に配置されたリード管腔を有する前記システムにおいて、

冠状静脈系への静脈アクセス口を確立する導入器キット(5)と、

複数の送り込みシース(21、23)であって、各々が、冠状静脈系の冠状静脈洞への所望のアプローチ法に相応し、静脈アクセス口(950、960)を通じて冠状静脈系内に航行路を確立する前記複数の送り込みシース(21、23)と、

複数の送り込みシース(21、23)の1つの送り込みシースに結合された止血弁(27)と、

リード管腔内に挿入可能なガイドワイヤー(47)を装填する装填装置(60)であって、外側部分(94)を有し、前端(80)から後端(82)まで伸びて、後端(82)に形成された開口部を有する航行部分(64)と、ガイドワイヤー(47)をリード内に装

填する間、リードの末端先端(41)を受け入れ且つ適正に向き決めする係合キャビティ(66)と、航行部分(64)の前端(80)から後端(82)まで外側部分(94)に沿って伸びるスロット(65)を形成し得るように第二の側壁(96)から隔てられた第一の側壁(95)とを有する前記装填装置(60)とを備え、

その内部に装填されたガイドワイヤー(47)を有するリードが装填装置(60)から除去されるとき、ガイドワイヤー(47)がスロット(65)を通じて持ち上げられ、
ガイドワイヤー(47)が、止血弁(27)及び送り込みシース(21、23)を通じて冠状静脈系内の標的箇所への医療電気リードの末端先端(41)の送り込みを案内し、
末端先端(41)が標的箇所に送り込まれた後、止血弁(27)が、医療電気リードのコネクタ(50)に沿って前進し、止血弁(27)を医療電気リードから除去するようにしたことを特徴とする、医療電気リードを冠状静脈系内に送り込むシステム。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0013

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0013】

本発明は、リードの末端先端と、ガイドワイヤーを受け入れる管腔とを有する医療電気リード内にガイドワイヤーを装填する装填装置に関するものである。該装填装置は、外側部分を有し且つ、前端から後端まで伸びて後端に形成された開口部を有する航行(navigation)部分と、ガイドワイヤーをリード内に装填する間、リードの末端先端を受け入れ且つ、適正に向き決めして航行部分の開口部に対しリードの管腔を整合させる係合キャビティとを有している。第一の側壁は、第二の側壁から隔てられて外側部分に沿って前端から航行部分の後端まで伸びるスロットを形成し、その内部にガイドワイヤーが装填されたリードが装填装置から除去されるとき、ガイドワイヤーはスロットを通じて持ち上げられる。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0014

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0014】

本発明の第二の側面によれば、医療電気リードを冠状静脈系内に送り込むシステムは、冠状静脈系に対する静脈アクセス口を確立する導入器キットと、各々が静脈アクセス口を通じて冠状静脈系内に航行路を確立し得るよう冠状静脈系の冠状静脈洞への所望のアプローチ法に相応する複数の送り込みシースと、複数の送り込みシースの1つの送り込みシースに結合された止血弁とを有している。ガイドワイヤーをリードのリード管腔内に装填するために利用される装填装置は、外側部分を有し且つ、前端から後端まで伸び、また、後端に形成された開口部を有する航行部分を備えている。装填装置の係合キャビティは、ガイドワイヤーをリード内に装填する間、リードの末端先端を受け入れ且つ、適正に向き決めし、また、第一の側壁は、第二の側壁から隔てられて外側部分に沿って前端から航行部分の後端まで伸びるスロットを形成し、その内部にガイドワイヤーが装填されたリードが装填装置から除去されるとき、ガイドワイヤーがスロットを通じて持ち上げられるようとする。ガイドワイヤーは、医療電気リードの末端先端を止血弁及び送り込みシースを通じて冠状静脈系内の標的箇所まで送り込むのを案内し、また、末端先端が標的箇所に送り込まれた後、止血弁を医療電気リードのコネクタの上を前進させ、止血弁を医療電気リードから除去する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

本発明の更に別の側面によれば、冠状静脈系内で医療電気リードを送り込む方法は、導入器工具キットを使用して冠状静脈系への静脈アクセス口を確立するステップと、冠状静脈系の冠状静脈洞への所望のアプローチ法に相応する複数の送り込みシースから1つの送り込みシースを選ぶステップと、送り込みシースを静脈アクセス口内に配置するステップとを備えている。リードは装填装置内に挿入され、ガイドワイヤーは装填装置の航行部分内に挿入されて、ガイドワイヤーをリードの管腔内にて案内する。ガイドワイヤーは、第二の側壁から隔てられ且つ、航行部分の外側部分に沿って伸びるスロットを通じて持ち上げられ、その内部にガイドワイヤーが挿入されたリードを装填装置から除去される。医療電気リードの末端先端を送り込みシース内に挿入し、ガイドワイヤーを使用して冠状静脈系内の標的箇所への医療電気リードの末端先端の前進を案内する。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0135

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0135】

本発明によれば、図33中、第一の側壁95は、ガイドワイヤー46を第一の側壁95と第二の側壁96との間で持ち上げることを許容する距離にて第二の側壁96から隔てられている。その結果、ガイドワイヤー46がリードの末端先端30の側部管腔32内に配置されたならば、リード35の末端部分31及びリードの末端先端30をリードのスロット68(図31参照)及び係合キャビティ66からそれぞれ除去し且つ、ガイドワイヤー46をスロット65を通じて持ち上げることにより、ガイドワイヤー46を航行部分64内から除去することで、リード35は、ガイドワイヤー46が側部管腔32を通じて配置された状態にて装填装置60から除去される。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0138

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0138】

リード40が装填装置60内に挿入された後、ガイドワイヤー46を図35中方向Bに向けて開口部97にて航行部分64内に挿入し、航行部分64がガイドワイヤー46を開口部75に向けて導き、このため、ガイドワイヤー46は管腔43の管腔の末端61にてリードの末端先端41内に挿入される。ガイドワイヤー46は、末端先端41にて管腔43内に導かれ、管腔43を通り且つ、コネクタピン50の基端側開口部から外に出る(図19参照)。ガイドワイヤー46が管腔43内に配置されたならば、リードの末端先端41及びリード40の末端部分72を、係合キャビティ66及びリードスロット68からそれぞれ除去し、また、ガイドワイヤー46をスロット65を通じて持ち上げることにより、ガイドワイヤー46を航行部分64内から除去することで、ガイドワイヤー46が管腔43を通じて配置された状態で、リード40は装填装置60から除去される。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0144

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0144】

図40は、本発明に従って医療電気リードを冠状静脈洞内に送り込む方法のフローチャ

ートである。図40に示すように、本発明に従って医療電気リードを冠状静脈洞内に送り込む方法は、静脈へのアクセス口を確立する、ステップ500を備えている。静脈へのアクセス口が確立されたならば、冠状静脈洞への所望のアプローチ法に相応する送り込みシースを選択する、ステップ502、その選んだ送り込みシースを静脈アクセス口内に配置する、ステップ504が行われる。例えば、右側アプローチ法が好ましいならば、送り込みシース21を選び、左側アプローチ法が好ましいならば、送り込みシース23を選ぶことになる。リードを装填装置内に挿入し、ステップ506、ガイドワイヤーを装填装置の航行部分内に挿入し、ステップ508、航行部分はガイドワイヤーをリードの管腔内で導く。ガイドワイヤーは、第二の側壁から隔てられた第一の側壁により形成され、航行部分の外側部分に沿って伸びるスロットを通じて持ち上げられ、その内部にガイドワイヤーが挿入されたリードを装填装置から除去される、ステップ510。医療電気リードの末端先端は、止血弁を通じ且つ、送り込みシース内で前進させ、ステップ512、医療電気リードの末端先端の前進を、ガイドワイヤーを使用して冠状静脈洞内で標的箇所まで案内する、ステップ512。